

## 特別史跡高松塚古墳仮整備の完成について

### 1. 概要

高松塚古墳は、石室解体（平成19年4月～8月）後、壁画・石材の修理期間（約10年間）中における仮の措置として、推定される古墳の外形を見学者が体感できるよう、古墳の仮整備工事を実施してきた。

平成21年10月に、仮整備工事が終了し、10月24日には一般公開が可能となった。

### 2. 仮整備の内容

- (1) 石室解体後、埋戻しを行う。（平成19年9月～10月実施）
- (2) 旧保存施設を撤去する。（平成20年11月～平成21年5月実施）
- (3) 墳丘及び周溝等の外形を復元する。（平成21年7月～9月実施）
- (4) 墳丘周辺の環境整備（平成21年10月）

### 3. 仮整備の手法

- 埋戻しには、発掘掘削土、および滅菌処理した土嚢を用い、墳丘頂部からの雨水流入防止のために遮水シートを用いる。
- 墳丘の外形復元の方法は、土を厚さ30cmほど敷きならして十分に締め固めながら重ねるもの。必要に応じて不織布等の透水層を設けるなど崩落防止を考慮する。
- 墳丘の地表面仕上げは張芝とする。周溝には保護盛土を施し、排水機能を持たせる。

### 4. 復元の概要

- 下段部直径約23m、上段部直径約18mの2段築成の円墳（築造当時の姿）
- 周溝の復元（南西～南側を除く）
- 南東側に礫詰め暗渠を遺構表示



仮整備後の高松塚古墳